資料１別添①

令和６年度事業評価シート

１．【沖縄県】令和６年度事業評価シート..... 1

２．【那覇市】令和６年度事業評価シート..... 21

１．【沖縄県】令和６年度事業評価シート

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	4	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進		
事業名	無電柱化推進事業　（県道49･50号線）	事業主体	県(道路管理課)
事業期間	(事業中)平成25年度～	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	□(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 ■(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金：無電柱化推進事業 沖縄振興特別推進交付金：無電柱化推進事業(要請者負担方式)		
事業概要	当路線は、世界遺産である首里城公園や玉陵への交通アクセスの要所となっており、観光地としても認知されていることから、周辺の景観向上を目的に整備を実施している。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

【当該年度計画】

今年度の取組内容	該当路線において埋蔵文化財が確認されているため、引き続き関係機関との協議を実施する。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	関係機関等と無電柱化の推進における課題等を協議した。引き続き、関係機関と調整していく。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	･文化財調査の時期について、再度調整が必要。 ･実施方法についても関係機関と引き続き調整していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No5.11	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	

事業名	公共事業における景観アセスメント 沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	事業主体	沖縄県　都市計画･モノレール課
事業期間	(事業中)平成24～	関係機関	那覇市都市計画課 沖縄県首里城復興課
首里杜まちづくり推進協議会	□(大)連携が特に必要な事業 ■(中)連携が部分的に必要な事業 □(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】 沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)、県単独事業･景観形成推進事業		
事業概要	普遍的観光資源である沖縄独自の風景･まちなみ景観の創生を図るため、沖縄らしい風景づくりに必要な人材育成や地域景観の向上に係る合意形成、良質な公共空間の創出に向けた取り組みを行い、市町村における景観地区の指定等を促進する。 【事業内容】①シンポジウムの開催等広報啓発②風景づくりに係る人材育成③公共事業における景観アセスメント④景観向上に係る技術開発⑤”美ら島沖縄”風景づくり協議会の運営		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
景観アセスメント対象事業の選定･実施 →					
人材育成･シンポジウム等の計画･実施等 →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	①沖縄県景観評価委員会の対象事業として選定した首里城公園管理棟増築･改修工事ほか2事業において、引き続き景観アセスメントを実施する。②沖縄らしい風景づくりに係る人材育成を3箇所で実施する。首里当蔵町では天王寺井戸で取水ポンプの取替を行い、修景、手摺の取付及び清掃を行う予定。城西小学校区まちづくり協議会では、芭蕉紙の卒業証書を作成するとともに、芭蕉苗木の植え込みも予定。首里三ヶ城南校区まちづくり協議会では崎山公園へ桜の植樹と標柱設置予定。③風景づくりに関する県民の意識の向上や知識の普及を図るためシンポジウムを開催する。④”美ら島沖縄”風景づくり協議会にて風景づくり先導地区として認定した首里城周辺地区について、景観に係る事業や取り組み等について情報を共有･発信する。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	①首里城公園管理棟増築･改修工事ほか2事業において、景観アセスメントを実施した。②沖縄らしい風景づくりに係る人材育成を3箇所で実施(首里当蔵町:天王寺井戸で修繕･修景、城西小学校区まちづくり協議会:芭蕉紙づくり、首里三ヶ城南校区まちづくり協議会:崎山公園へ桜の植樹)した。③「教えて!!風景の専門家さん」と題して、風景づくりシンポジウムを開催した。④”美ら島沖縄”風景づくり協議会にて風景づくり先導地区として認定した首里城周辺地区について、景観に係る事業や取り組み等について情報を共有･発信した。
進捗状況	■1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	①設計段階における景観検討内容を施工段階へ反映させるため、施工段階への引き継ぎを密に行う。②円滑に事業を進めるため、活動内容の決定を早めに実施するとともに首里杜まちづくり推進協議会内で関連事業との連携･共有を密に図る。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

天王寺井戸修繕・修景

従前　　従後

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	15	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全･整備･活用 ①幅広い歴史文化資源の再評価と保存･活用		
事業名	第32軍司令部壕保存･公開事業	事業主体	沖縄県　平和･地域外交推進課
事業期間	(事業中)令和2年度～	関係機関	沖縄県　都市公園課ほか
首里杜まちづくり推進協議会	□(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 ■(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	県単独事業 第32軍司令部壕保存･公開事業		
事業概要	沖縄戦の軍事的中枢施設であった第32軍司令部壕は、沖縄戦の実相を次世代に語り伝えるために極めて重要な歴史的戦跡であることから、同壕の保存･公開に向けて必要な詳細調査や平和発信･継承等の取組を行うとともに、専用ホームページ等を活用し情報発信を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
有識者委員会における検討	詳細調査及び平和発信･継承の取組等				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	･検討委員会を設置し、委員意見や基本方針を踏まえた基本計画を策定する。 ･同壕の内部や周辺の詳細調査を実施する。 ･同壕のパンフレットやクイズコンテンツを専用ホームページに掲載する。 ･過去に収集した資料等を基に、同壕を対象としたガイドテキストを作成する。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	･第32軍司令部壕保存･公開基本計画を令和7年3月に策定。 ･同壕の内部や周辺の詳細調査を実施し、特に第1坑口では、4本の坑木(坑道内の柱)や多数の床板等の遺物、床面や側壁等の遺構が新たに出土した。 ･同壕のパンフレットやクイズコンテンツを専用ホームページに掲載した。 ･同壕を対象としたガイドテキストを作成中。令和6年度末までに完成予定。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	･県立芸術大学金城キャンパス駐車場の一部に展示施設及び駐車場等を整備予定。 ･展示施設整備に伴う道路混雑やフィールドワークによる生活道路への進入に対し、今後調整を行う必要がある。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

展示施設整備イメージ

見学ルートのイメージ

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	16	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全･整備･活用 ②拠点資源および周辺の保全･復元･整備		
事業名	首里城復興事業　中城御殿跡地整備	事業主体	沖縄県　首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	沖縄県･那覇市文化財課、都市公園課　ほか
首里杜まちづくり推進協議会	□(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 ■(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金･公園事業 ※木造復元部分は事業手法調整中		
事業概要	琉球国王時代の世子殿宅である中城御殿跡を公園施設として整備する事業である。 規模：敷地面積約1.1万㎡、延床面積約3,870㎡、4つのエリアで構成 上之御殿エリア(庭園整備)、表御殿西側、御内原エリア(RC造　3,030㎡) 表御殿東側エリア(木造復元　840㎡)　※木造復元部分については次期事業		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
設計 →		工事 →			

【当該年度計画】

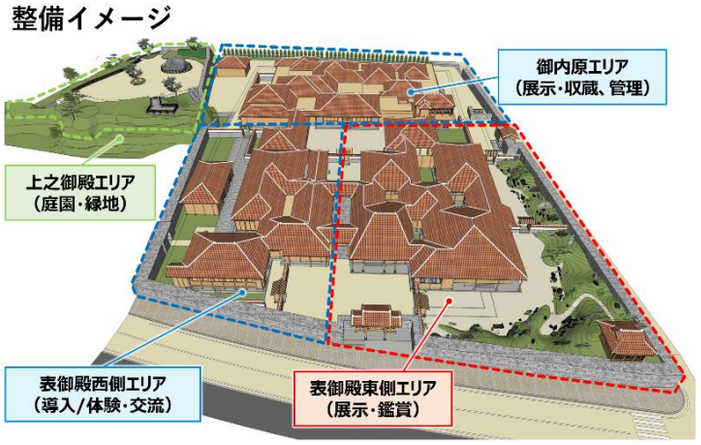
今年度の取組内容	今年度、中城御殿御内原エリア･表御殿西側エリアの建築工事が着工する。設備工事も着工予定となっている。中城御殿上之御殿エリアの庭園工事や、石牆修復工事も今年度の4月から着工している。 引き続き、中城御殿跡地整備検討委員会で確認を行いながら、進めていく。

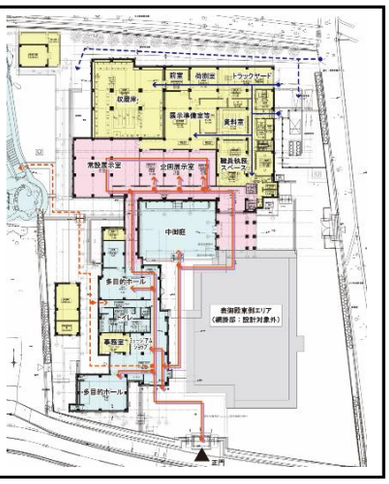
【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	令和7年3月までに、中城御殿跡地整備検討委員会を2回、中城御殿エリア検討部会･龍潭周辺整備検討部会を計4回開催し、管理運営体制や展示計画、また、龍潭周辺の世持橋･松崎馬場、龍潭西岸園路について、委員や関係機関とも密に調整しながら検討を進めた。 中城御殿御内原エリアの建築工事については令和6年12月に着工し、表御殿西側エリアについては令和7年4月に着工見込みである。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】首里城正殿復元工事に合わせ令和8年度までに上之御殿エリア及び第二期工事の御内原･表御殿西側エリアを完成させる事業工程となっており、各種工事や施設供用開始に向け関係機関との密な調整や連携などが課題となる。 【対応方針】事業工程における各手続きや発注時期、作業期間を明確にし、検討委員会にて関係者と共有した上で、年度ごとの実施項目を確実に実施していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

整備イメージ





首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	17	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全･整備･活用 ②拠点貮①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進		
事業名	円覚寺跡保存整備事業　三門整備工事	事業主体	沖縄県 文化財課
事業期間	令和3年度～	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	□(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 ■(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】文化庁国庫補助事業　歴史活き活き史跡等総合活用整備事業		
事業概要	円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊された。　首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備などとの整合性を図り、その保全と活用･公開等を目的に三門復元に取り組んでいる。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
工事 →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	令和3年度から円覚寺三門整備工事に着手している。 令和6年度は三門の1階部分の建築を進める。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	円覚寺三門の1階部分の建築を進め、今年度建築部分は完了する見込み。
進捗状況	■1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 今後の建築工事を進めるにあたり、工事工程の検討や文化庁への確認等をスムーズに行う必要がある。 【対応方針】 建築工事業者や文化庁と綿密な調整を行い、円滑な事業実施を行う。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

図１　円覚寺三門完成予想図

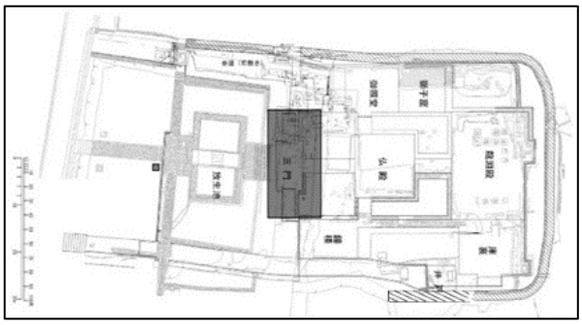


図２　円覚寺三門復元整備箇所

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	18	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全･整備･活用 ②拠点資源および周辺の保全･復元･整備		
事業名	龍潭周辺整備（松崎馬場、世持橋等）	事業主体	沖縄県　首里城復興課
事業期間	令和4年度～13年度	関係機関	県　都市公園課 南部土木事務所
首里杜まちづくり推進協議会	□（大）連携が特に必要な事業 ■（中）連携が部分的に必要な事業 □（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金･都市公園事業		
事業概要	公園種別：総合公園 公園面積：13.8ha （他国営公園区域4.0ha）　供用開始面積：7.21ha 県営公園区域の主な施設：総合休憩所、地下駐車場、園路、広場など 総事業費：252億円　都市計画決定：昭和62年（当初）、平成26年（変更）		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
設計 →		工事 →			

【当該年度計画】

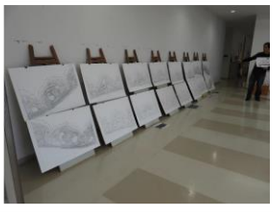
今年度の取組内容	現在、松崎馬場園路工事は、R6に伐採･植栽工事、R7に園路工事と植栽工事を行う。また今年度は、龍潭西岸バリアフリー園路の基本設計、世持橋実施設計および工事を行う。 龍潭周辺整備は、地域からの意見と併せて、中城御殿跡地整備検討委員会の部会からの助言をもらいながら進めていく。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価（自由記述）	今年度は世持橋等実施設計、松崎馬場伐採･植栽工事、龍潭西岸バリアフリー園路基本設計に着手した。R7年度は、世持橋高欄設置、松崎馬場園路整備･植栽工事、龍潭西岸バリアフリー園路実施設計を進めていく。中城御殿跡地整備検討委員会内龍潭周辺整備検討部会で諮り、関係機関と調整を行いながら進めていく。
進捗状況	■1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	【課題】県の史跡指定を受けている地域での事業となるため、景観や史跡保護等の条件がある 【対応方針】実施にあたっては、有識者のアドバイスや地域の要望、また文化財課を含む関係機関との調整を行い、R8年度までの完成を目標に事業を進めていく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

世持橋羽目板下絵監修



松崎馬場植栽イメージ（植栽10年後・H=約6.0m）

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	20-1	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全･整備･活用 ②拠点④①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進		
事業名	指定文化財周辺の環境整備 首里城跡外郭城壁及び外郭櫓門の整備	事業主体	沖縄県文化財課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	内閣府沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所首里出張所 沖縄県首里城復興課
首里杜まちづくり推進協議会	□(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 ■(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金) 首里城復興事業(※細事業名:首里城跡景観整備事業)		
事業概要	首里城跡城郭の目地開きによる変状や各櫓の経年劣化により、首里城跡の景観を著しく損ね、観光客や地域住民を危険にさらす要因に対し整備することにより、危険性の除去および景観の回復を図ることを目的とする。 令和8年度の首里城正殿復元完了に向け、現在、様々な整備事業が進められている。国が進める首里城正殿復元事業と併せて実施することにより、早期に危険性の除去と景観の回復に努める。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
調査･設計･工事等(順次実施) →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	【R6年度取組予定】 ･歓会門櫓及び久慶門櫓の変状調査を実施する。 ･首里城外郭城壁の悉皆調査を実施する。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	(歓会門櫓及び久慶門櫓の変状調査) 変状調査を完了した。修復に向けた設計も令和7年3月末に完了する見込み。 (首里城外郭城壁の悉皆調査) 令和6年度の調査対象としていた部分の調査完了。
進捗状況	■1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】国･県各部局がそれぞれ進める首里城復興に関する諸工事が並行して展開しているため、工程のすり合わせや作業スペースの確保が課題となっている。 【対応方針】工事工程や作業スペースが競合しないように、国や県各部局と綿密に調整を行う。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

写真１　調査対象の歓会門櫓

写真２　調査対象の久慶門櫓

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	21-1	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全･整備･活用 ③歴史文化的資源の魅力向上や新たな資源の創出		
事業名	地域資源の調査及び修景等	事業主体	県　首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県都市計画モノレール課、 那覇市　都市計画課
首里杜まちづくり推進協議会	■(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 □(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】沖縄振興特別推進交付金		
事業概要	首里杜地区における地域資源の調査及び修景等を行う。 首里杜地区及び周辺において、地域資源の整理をおこなうとともに、資源調査やワークショップを通して身近な資源や新たな資源の発見や再評価をおこなう。また、これらの資源をまちづくりの拠点として活用できるよう、修景や周辺整備事業との連携などを推進する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
取り組み方針の検討	調査･設計		整備等(順次実施)		

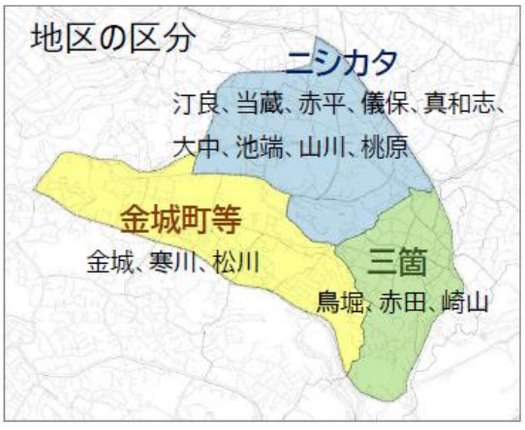
【当該年度計画】

今年度の取組内容	･R5で首里杜地区の「交通･観光マネジメント計画」を作成した。計画の中で整理された交通･観光の課題解決に向けて検討していく。首里杜まちづくり推進協議会では、地域関係者の参画の促進を図っていく。テーマ活動では、地域資源と観光の両立を図るためのゾーニングを検討していく。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	「持続可能なまちづくり講演会」、4回のテーマ活動を実施し、3つのエリア(ニシカタ･三箇･金城町等)別のルート･案内したい資源について意見交換を行い、地域での取り組みをまとめた。過去に地域で作成していた地域資源の情報とあわせて、引き続き、首里城周辺の地域の魅力を発信し、直行直帰型観光から周遊観光への行動変容を促していく。
進捗状況	■1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】今年度の成果を実現するための検討、また成果･活動内容のさらなる共有･周知 【対応方針】行政側の対応事項をまとめ、関係機関との調整を行う。地域側での取り組みを進めるため、地域事業者との連携強化を図り、周知を含めた地域全体の関わりの継続･拡充を目指す。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



地域での取り組みの一例

取り組みタイトル		水と泡盛のまち 三箇を巡る回遊コースと サイン設置の協働プロジェクト
取組の内容・展望　など		• 三箇ルートを確立するための統一性のあるサインの設置 • 首里駅からの動線を案内するための「チラシ」と「案内板」を作成し、首里駅へ設置する。 • 歴史舗道の案内 ➢ 「古地図」とリンクした「サイン」整備 ➢ 「文化財の案内」と「観光案内」を両立させる ➢ サインの文言については首里言葉の読みでルビを振る • 経世門から結ぶ歴史ルート（城内の新しい動線）を整備 ➢ 美福門を開き、経世門↔美福門のルートを整備する
地域に起こる良いこと・効果・メリットなど	地域	三箇地域の歴史の継承、伝承
	観光客	首里駅からの散策コース「首里城巡り」を体験できる 満足度の向上
取組に必要なモノ・コトなど	地域	コンテンツ作りの歴史情報の提供
	行政	サインの新設と、サインの管理の一元化（ワンストップ化）
	観光事業者	ツアー企画（那覇市観光協会等） 地域ボランティアとの連携
	その他	首里駅への案内板の設置、チラシの設置 案内板・チラシの作成

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	22	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	渋滞ボトルネック対策	事業主体	県（道路街路課）
事業期間	平成25年度～	関係機関	沖縄総合事務局　道路建設課
首里杜まちづくり推進協議会	□（大）連携が特に必要な事業 ■（中）連携が部分的に必要な事業 □（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金		
事業概要	沖縄地方における道路交通渋滞の緩和を図るため、関係者で組織する沖縄地方渋滞対策推進協議会において、主要渋滞箇所の特定、渋滞の原因分析、対策方針の検討が進められている。 同協議会における対策方針では、近年の道路交通状況を踏まえ、幹線道路等の整備による交通容量拡大を図る取り組みに加え、即効性のある施策を行い、渋滞緩和に向けて取り組んでいくこととしている。 本事業では、即効性のある施策として、主要渋滞箇所における車線構成の見直し、右折レーンの設置･延長等を実施することにより、道路交通渋滞の緩和を図るものである。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証 →					

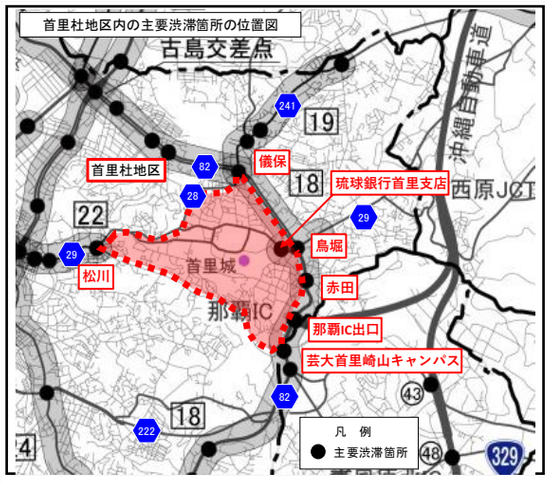
【当該年度計画】

今年度の取組内容	沖縄地方渋滞対策推進協議会において、主要渋滞箇所に特定されている首里杜計画外縁部の交差点や区間について、継続的に渋滞状況の検討を行う。 また、「池端交差点」及び「首里城前交差点」については、現状、主要渋滞箇所の要件に該当しないことから、周辺の交通状況に注視し、必要に応じ同協議会において主要渋滞箇所特定の検討を行う。。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価（自由記述）	沖縄地方渋滞対策推進協議会において、過年度に対策を実施した芸大首里崎山キャンパス前交差点、松川交差点を含む首里杜計画外縁部の主要渋滞箇所や区間について渋滞状況の調査を行った。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	今後も引き続き、沖縄地方渋滞対策推進協議会において首里杜計画外縁部の主要渋滞箇所や区間についての渋滞状況調査に取り組む。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



芸大首里崎山キャンパス前交差点　対策後

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	23	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	首里杜館駐車場の大型バス予約制による平準化	事業主体	県　首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県　都市公園課 美ら島財団、SCSK
首里杜まちづくり推進協議会	■(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 □(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)		
事業概要	首里杜館駐車場を利用する大型バスについて、特に午前中の集中による周辺道路の交通渋滞が生じていた。大型バスの事前予約による時間当たりの台数制限や、混雑情報の共有と平準化を促す取組を推進する。 ･大型バスの事前予約(台数制限、平準化) ･混雑日及び時間帯の共有 ･その他駐車場の適正利用策の検討(身障者対応、混雑緩和策　他)		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
システムの開発	試行	運用			

【当該年度計画】

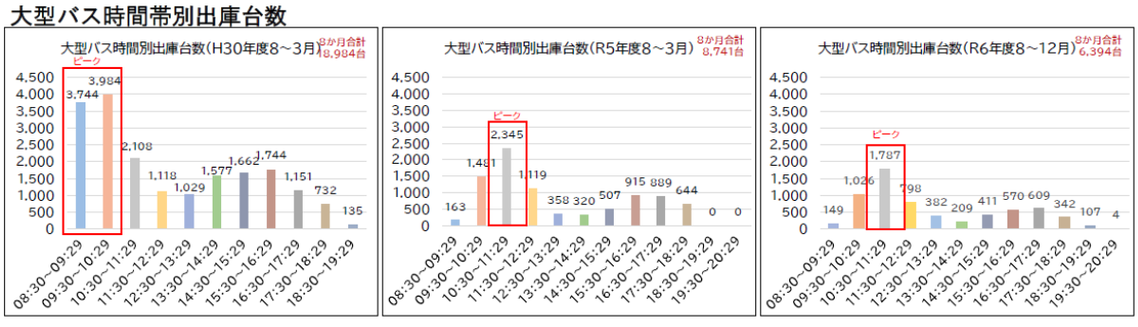
今年度の取組内容	R6.7月より、大型バス予約システムの本格運用を開始する。首里城周辺の渋滞については緩和されてきている。今後は、よりスムーズな入庫による渋滞緩和と駐車場運用改善を行うためのシステム改修を行う。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	大型バス予約システムの導入により、午前中内での平準化･ピークシフトがみられ、近隣の通勤･通学時間帯での混雑緩和に一定の効果が見られた。また、バス協会等の関係機関との意見交換会を実施した。 R8年度の正殿復元時の混雑を見据えた小型車予約システムの実証実験を行った。
進捗状況	■1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】･午前中の利用が多く、午後の予約が少ない ･首里城公園周辺での大型バス一時乗降に伴う渋滞の発生 ･大型バス待機場･乗降場の整備の検討 【対応方針】･予約状況の見える化を充実し、旅行会社への周知を図る ･交通規制の検討や、一時乗降自粛の呼びかけの実施する ･崎山駐車場や農業試験場跡地が活用できるかを検討する 小型車予約システムについては、運用面を含めた検討を進めていく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

大型バス時間帯別出庫台数



首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	24	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	駐車場の満空情報の発信･誘導 （首里杜館及び周辺駐車場）	事業主体	県　首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県　都市公園課
首里杜まちづくり推進協議会	■（大）連携が特に必要な事業 □（中）連携が部分的に必要な事業 □（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金（仮）		
事業概要	･首里杜館駐車場や首里城周辺の民間駐車場の満空情報等を効果的に発信することで、レンタカーなどの公園利用者のウロツキ交通の削減や公共交通利用への行動変容を促す取組を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中 運用中･サービス規模の向上検討					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	首里杜館駐車場の満空情報のリアルタイムの発信を行うためのシステム構築と周辺駐車場の満空情報を発信するための指定管理者ホームページの改修を実施する。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価（自由記述）	首里城公園駐車場および周辺駐車場の満空情報を首里城公園ホームページ内で発信できるよう改修を行った。 首里城公園駐車場の満空情報をリアルタイムで入口サイネージへ反映できるシステムを構築した。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	【課題】･満空情報の発信は行っているが、定量的な効果測定が難しい ･周辺駐車場の満空情報の連携数が少ない 【対応方針】･ウロツキ交通や公共交通利用への行動変容を定期的に測定する ･周辺駐車場へ説明会を実施し、連携数を増やす

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	25	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	パーク＆ライドの推進（てだこ浦西駅、崎山P&R等）	事業主体	首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県　都市計画･モノレール課
首里杜まちづくり推進協議会	■（大）連携が特に必要な事業 □（中）連携が部分的に必要な事業 □（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名			
事業概要	市街地への交通の流入を抑制するため、郊外に設けられた駐車場に自家用車を駐車し、そこからモノレールやバスレーンなど定時性の高い公共交通を活用して通勤･通学を行う「パーク&ライド」を促進しているが、首里城公園利用者の利用促進策についても検討してく。 ･市街地における交通渋滞の緩和 ･パーク&ライドの利便性の広報等を通し、利用者数の増加を図る　てだこ浦西駅パーク&ライド駐車場：992台 首里崎山パーク＆ライド駐車場：142台		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
広報･啓発活動、利用促進策の検討･実施等 →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	モノレールやバスを利用した公共交通手段の啓発活動や利用促進に向けた施策の検討を進めるため、首里城公園へのアクセス手段の調査･整理を行う。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価（自由記述）	大型バス予約システム構築業務内で実施したバス協会等の関係機関との意見交換会の際に、首里崎山P&R駐車場･農業試験場跡地を駐機場として活用できないかとの意見があった。
進捗状況	□1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　■4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	【課題】モノレール首里駅での乗降の可能性、旅行業者･バス事業者が崎山P＆R駐車場を使用の意向の確認が必要となる。 【対応方針】駐車場の管理を行う関係機関との調整を実施し、駐機場としての運用について実証実験を検討する。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	27	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	循環バス、シャトルバス等の導入促進	事業主体	県　首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県　都市公園課
首里杜まちづくり推進協議会での連携	■(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 □(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)		
事業概要	･首里城公園内でのイベント開催時にシャトルバスを運行し、アンケート調査や実態調査を実施することで、公園利用者の行動変容や公共交通利用の促進などの基礎資料の蓄積と効果の分析を実施。 ･結果を踏まえ、公園利用者の受入体制の検討を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
イベント時における実証実験 →					運用 →

【当該年度計画】

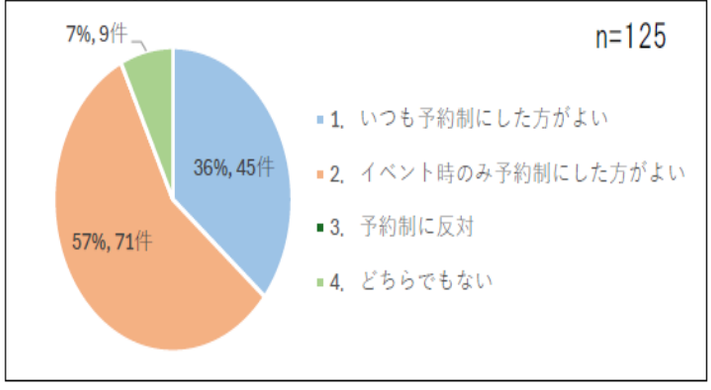
今年度の取組内容	昨年度は、首里城復興祭に合わせてシャトルバスを運行し、アンケート調査や実態調査を実施した。イベント時の民間駐車場を利用したシャトルバス運行については、利活用の可能性はあるが、収支が赤字運営となるため、継続的な実施は難しいと判断した。今年度は、小型車予約実証実験を行い、駐車場のコントロール範囲や運用方法について、検討を進めていく。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	11/2，3，4の3日間、首里城復興イベントに合わせて小型車予約制実証実験及びアンケート調査を実施した。予約は受付可能台数250台に対し224台だったが、実際の利用は158台(予約台数の71%)となった。予約制(1日最大100台)については、余裕を持った運用となり、コントロール可能な範囲で混雑緩和に寄与することができた。
進捗状況	■1. 想定通り順調　□2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】･駐車場を予約していない車両による周辺駐車場での渋滞の発生 ･無断キャンセルによる利用者数の減 【対応方針】･駐車場台数の増と周辺駐車場の事前周知方法の検討 ･事前精算の導入等の対策

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

小型車予約制導入についての賛否



民間駐車場への入庫待ち車列

首里杜地区整備基本計画　事業計画・評価シート

事業No	29	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	シェアサイクル等の促進（自転車利用促進策）	事業主体	県（交通政策課） 那覇市（都市計画課）
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	首里城復興課 道路管理者 等
首里杜まちづくり推進協議会	□（大）連携が特に必要な事業 □（中）連携が部分的に必要な事業 ■（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】交通体系整備推進事業費		
事業概要	『TDM施策推進アクションプログラム』において、TDM重点エリアとして「首里杜地区観光対策エリア」を定めており、同アクションプラグラムに基づき、エリア内において以下のTDM施策を一体的に実施する。 No.29 シェアサイクル等の促進（自転車利用促進策） No.30 モビリティ・マネジメント No.33 ビックデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中 運用中・サービス規模の向上検討					

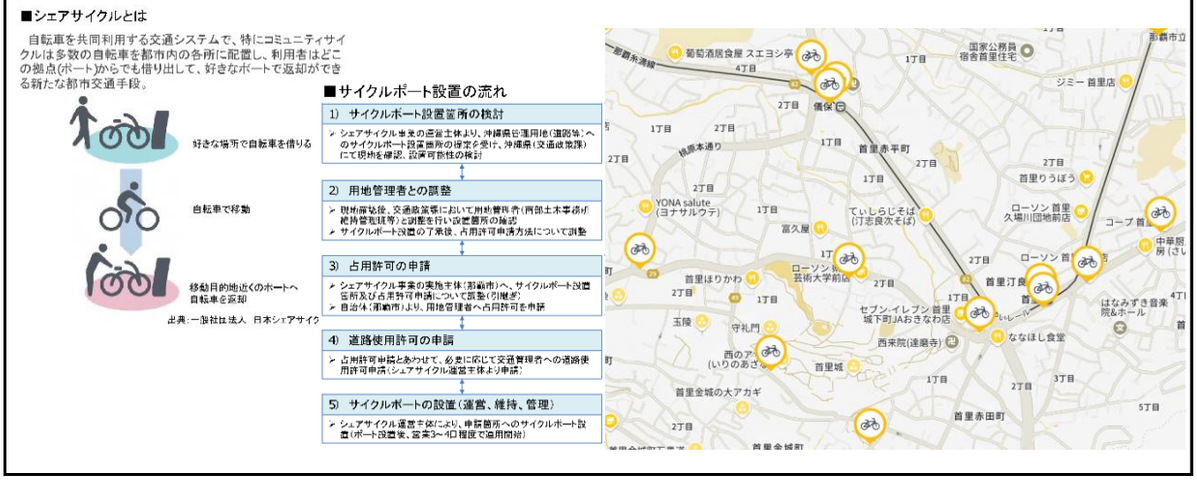
【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市シェアサイクル事業の事業主体（那覇市、運営会社）と連携し、シェアサイクルポートの設置に向けた検討・支援を行うとともに、首里杜地区に設置したシェアサイクルポートの利用状況のデータの収集・分析を行う。 また、那覇市等が実施する首里杜地区内における公共交通等の利用促進に向けたモビリティ・マネジメントへの支援を行う。

【当該年度評価】

定量的・定性的評価（自由記述）	那覇市シェアサイクル事業の事業主体と連携し、これまで首里杜地区に設置したシェアサイクルポート利用状況のデータ収集を行った。 また、那覇市が実施する首里中学校へのモビリティ・マネジメントへの支援として、MMツール（バス通学のススメ）の提供を行った。 加えて、首里杜地区における交通環境を分析するための基礎資料の収集を図った。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	地区内のシェアサイクルポートの追加設置に向けて、事業主体と更なる連携が必要である。 人々の移動（モビリティ）に関する「行動変容」を促すマネジメント施策を推進するためには、ジブンゴトとして捉えてもらうための共通認識の醸成が必要である。 交通環境の比較を実施するにあたり、継続的な基礎データの収集が必要である。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	30	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	モビリティ･マネジメント	事業主体	県（交通政策課） 那覇市（都市計画課）
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	首里城復興課
首里杜まちづくり推進協議会	□（大）連携が特に必要な事業 □（中）連携が部分的に必要な事業 ■（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】交通体系整備推進事業費		
事業概要	『TDM施策推進アクションプログラム』において、TDM重点エリアとして「首里杜地区観光対策エリア」を定めており、同アクションプラグラムに基づき、エリア内において以下のTDM施策を一体的に実施する。 No.29 シェアサイクル等の促進（自転車利用促進策） No.30 モビリティ･マネジメント No.33 ビックデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
モビリティ・マネジメント、交通マナーの啓発 →					

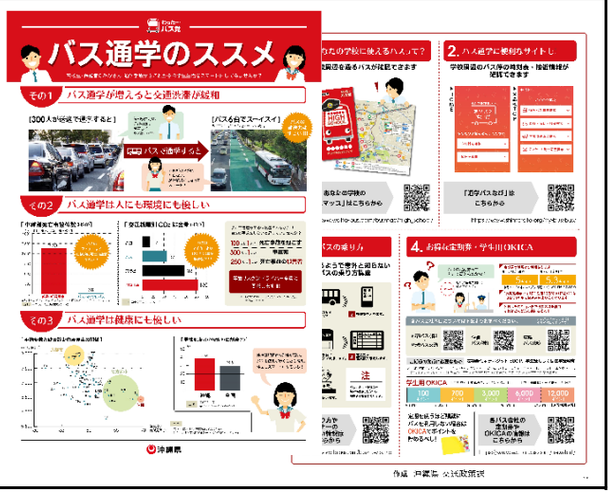
【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市シェアサイクル事業の事業主体（那覇市、運営会社）と連携し、シェアサイクルポートの設置に向けた検討･支援を行うとともに、首里杜地区に設置したシェアサイクルポートの利用状況のデータの収集･分析を行う。 また、那覇市等が実施する首里杜地区内における公共交通等の利用促進に向けたモビリティ･マネジメントへの支援を行う。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価（自由記述）	那覇市シェアサイクル事業の事業主体と連携し、これまで首里杜地区に設置したシェアサイクルポート利用状況のデータ収集を行った。 また、那覇市が実施する首里中学校へのモビリティ･マネジメントへの支援として、MMツール（バス通学のススメ）の提供を行った。 加えて、首里杜地区における交通環境を分析するための基礎資料の収集を図った。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	地区内のシェアサイクルポートの追加設置に向けて、事業主体と更なる連携が必要である。 人々の移動（モビリティ）に関する「行動変容」を促すマネジメント施策を推進するためには、ジブンゴトとして捉えてもらうための共通認識の醸成が必要である。 交通環境の比較を実施するにあたり、継続的な基礎データの収集が必要である。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画　事業計画・評価シート

事業No	31	観光地マネジメントの推進	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善			
事業名	観光客の受入体制等の整備 （DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等）		事業主体	沖縄県　首里城復興課、観光振興課、SCSK
事業期間	令和4年度～令和13年度		関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	■（大）連携が特に必要な事業 □（中）連携が部分的に必要な事業 □（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業		現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金（仮）、県単独費			
事業概要	・観光客の増加による交通渋滞による地域への交通・生活環境などのマイナスの影響への対策や、観光客の満足度向上を目的に、観光客の受入体制の環境整備を推進する。 ア.DXを活用した質の高い観光の推進　・ICTやデジタル技術等の活用による利便性向上、誘導・案内 ・ビッグデータ等のエビデンスに基づく対策や検証 イ.受入環境の改善・公共交通の利用促進策の検討と大型バスの分散・平準化などの検討・P＆R、バス乗降場等の検討 他			

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
観光客の受入体制等の整備	DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	首里城復興イベント時の小型車予約実証実験についてSCSKと連携し、利用者に対する各種情報発信、満足度アンケート収集などデジタル技術を活用した仕組みを検討する（首里城復興課） R6.7/1～10/31の期間、.沖縄県議会前から首里城を結ぶバスツアーの運行に対する補助を実施。（観光振興課）

【当該年度評価】

定量的・定性的評価（自由記述）	連携協定に基づく実証の一環でSCSKが首里城復興祭の特別情報サイトを構築、周遊情報を発信し、周辺地域への回遊を促すことができた。（首里城復興課） また、混雑が発生しない範囲で駐車場を有効活用することを目的に、小型車の予約制を実証実験を首里城復興祭で実施した。（首里城復興課）
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	首里城復興祭での運用状況を踏まえて、次年度以降、首里城公園アプリ（仮）の運用を開始し、首里城公園の基本情報や周遊情報、駐車場を含めた混雑状況の発信と、認知・利用・行動を追跡確認する仕組みを検討する。（首里城復興課） 小型車の予約制については、予約時の時間選択の自由度、キャンセル対策等に合わせバス予約との兼合いも含め検討を続ける。（首里城復興課）

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	31	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	観光2次交通利用促進事業	事業主体	民間事業者 市町村
事業期間	令和5年度～令和7年度	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	□(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 ■(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	観光2次交通利用促進事業(補助事業)		
事業概要	沖縄観光の交通手段については、レンタカーが主流となっているものの、国際線の復便や車の免許を持たない観光客の観光2次交通を確保するため、繁忙期において、市町村、旅行事業者、交通事業者等が行う観光2次交通の確保(観光施設や観光地域を結ぶ運行等)に要する経費に対し、補助金を交付する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
観光客の受入体制等の整備	DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	R6.7/1～10/31の期間、.沖縄県議会前から首里城を結ぶバスツアーの運行に対する補助を実施。(観光振興課)

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	駐車場が狭隘である首里城等の観光施設については、本補助事業なども利活用して頂き、観光客の受入体制の整備に努めていきたい。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	路線の定着(認知)には時間を要すること、旅マエの周知強化、通年を通した需要の見極めが必要などの課題が主としてあげられた。 利用者(観光客)に本補助事業の取組を認知してもらうため、一定の時間を要することから補助上限日数を100日から通年へ引き上げ、通年を通じた「自走化」の見極めを行う。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

［事業概要］

（１）補助対象者

ア　一般乗合旅客自動車運送事業の許可を受けた事業者

イ　一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けた事業者と契約のうえ、旅行商品としてバスを運行する旅行事業者（旅行業の登録を受けた事業者）

ウ　道路運送法第21条第１項第２号に基づき、一時的な需要のため国土交通大臣の許可を受けた事業者

エ　市町村（上記許可を受けた事業者と契約のうえ、バス等を運行する市町村）

（２）対象期間　令和６年７月１日から令和６年10月31日まで

※ただし、知事が認める場合は期間を延長することがある。

（３）補助率　１／２（ただし、２年目は１／３、３年目は１／４）

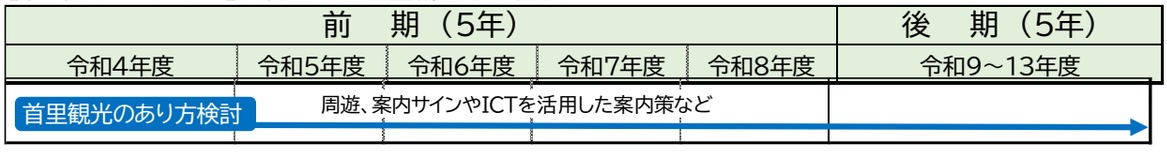
（４）上限額　360万円/台（ただし、車種の大きさや運行日数等により異なる）

（５）補助対象経費　バス等の運行に必要な人件費、燃料費、車両維持費、バス等の確保（購入費を除く）に要する経費、営業に要する経費

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	32	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進		
事業名	サスティナブル、レスポンシブル、ユニバーサルツーリズムの推進	事業主体	県　首里城復興課、観光振興課、市町村、DMO、観光関連事業者
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	覇市　都市計画課、地域団体、琉球大学
首里杜まちづくり推進協議会	■(大)連携が特に必要な事業 □(中)連携が部分的に必要な事業 □(小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金、県単独費、沖縄県観光振興基金		
事業概要	首里の観光のあり方について、地域と連携してサステナブルやレスポンシブルツーリズムなどの視点を踏まえた検討を行い、首里杜地区の総合的で持続可能な交通･観光マネジメントを推進する。 【取組事項】自然環境の保全、地域の文化･生活環境を尊重した観光地マネジメントの推進･主要拠点施設へのアクセス動線と案内等の検討･周遊観光のあり方検討(場所、ルート、住民生活への配慮)　･観光客に対する"責任ある旅行者"としての行動を求める取組の検討。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より



【当該年度計画】

今年度の取組内容	世界から選ばれる持続可能な観光地」を形成するため、サステナブルツーリズムを推進するとともに、旅行者と地域住民が沖縄観光の価値を共有し、自然環境、地域文化、生活環境への影響に十分配慮したレスポンシブルツーリズムに取り組む仕組みづくりを構築する。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価(自由記述)	県内取組の事例収集を行うとともに、検討委員会を開催し、沖縄版サステナブルツーリズムの考え方について協議した。引き続き検討委員会にて具体的な支援策を協議するとともに、沖縄県内のサステナブルツーリズムの取組推進のため、課題に対する取組支援を進めていく。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下)
課題と対応方針	過度に旅行者が集中する地域では、自然環境やその他暮らす人々の生活に大きな負荷が発生する等、オーバーツーリズムに繋がる観光諸問題が生じており、観光諸問題の未然防止･抑制に向けた取り組みが必要である。県では、検討委員会にて具体的な支援策の協議を行い、課題に対する取組支援を行う。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

【概要】

○サステナブルツーリズム実態調査

県内サステナブルツーリズム取組の事例収取、レポート作成

○サステナブルツーリズム検討委員会

沖縄県のサステナブルツーリズム推進に係るあり方の協議、推進体制の構築検討

○補助金事業

サステナブルツーリズム推進及び観光諸課題解決に関する事業を対象に、補助金を交付

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	33	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	ビッグデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証 （TDM施策推進アクションプログラム）	事業主体	県（交通政策課）
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	首里城復興課
首里杜まちづくり推進協議会	□（大）連携が特に必要な事業 □（中）連携が部分的に必要な事業 ■（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】交通体系整備推進事業費		
事業概要	『TDM施策推進アクションプログラム』において、TDM重点エリアとして「首里杜地区観光対策エリア」を定めており、同アクションプラグラムに基づき、エリア内において以下のTDM施策を一体的に実施する。 No.29 シェアサイクル等の促進（自転車利用促進策） No.30 モビリティ･マネジメント No.33 ビックデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
TDMデータ分析プラットフォームの活用 →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市シェアサイクル事業の事業主体（那覇市、運営会社）と連携し、シェアサイクルポートの設置に向けた検討･支援を行うとともに、首里杜地区に設置したシェアサイクルポートの利用状況のデータの収集･分析を行う。 また、那覇市等が実施する首里杜地区内における公共交通等の利用促進に向けたモビリティ･マネジメントへの支援を行う。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価（自由記述）	那覇市シェアサイクル事業の事業主体と連携し、これまで首里杜地区に設置したシェアサイクルポート利用状況のデータ収集を行った。 また、那覇市が実施する首里中学校へのモビリティ･マネジメントへの支援として、MMツール（バス通学のススメ）の提供を行った。 加えて、首里杜地区における交通環境を分析するための基礎資料の収集を図った。
進捗状況	□1. 想定通り順調　■2. 概ね順調　□3. やや遅れ　□4. 遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1. 80%以上／2. 60～79%／3. 40～59%／4. 39%以下）
課題と対応方針	地区内のシェアサイクルポートの追加設置に向けて、事業主体と更なる連携が必要である。 人々の移動（モビリティ）に関する「行動変容」を促すマネジメント施策を推進するためには、ジブンゴトとして捉えてもらうための共通認識の醸成が必要である。 交通環境の比較を実施するにあたり、継続的な基礎データの収集が必要である。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

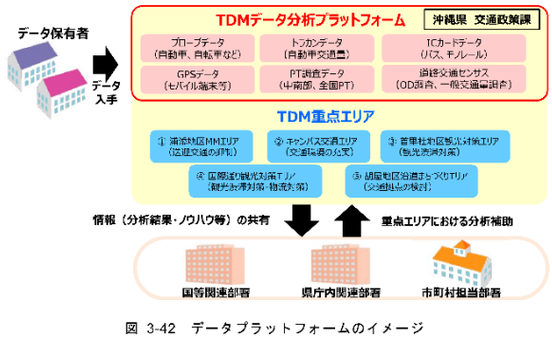


図 3-42　データプラットフォームのイメージ

シェアサイクルポート利用状況収集

	ステーション名	回/日
1	首里Aポケットパーク	7
2	牧志駅西口	6
3	県庁前駅東口エレベーター前	4

首里杜地区整備基本計画　事業計画･評価シート

事業No	35	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ②安全･安心で歩きたくなる市街地の形成		
事業名	龍潭線街路整備事業	事業主体	県（道路街路課）
事業期間	平成11年度～	関係機関	沖縄県首里城復興課 沖縄県文化財課　ほか
首里杜まちづくり推進協議会	□（大）連携が特に必要な事業 ■（中）連携が部分的に必要な事業 □（小）情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	□未着手 □準備中 ■実施中 □実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金･道路事業（街路）		
事業概要	首里城公園へのアクセスの要所である龍潭線について、街路整備や電線共同溝整備を実施し、慢性的な交通渋滞の解消と安全で快適な歩行空間の確保等を図る。		

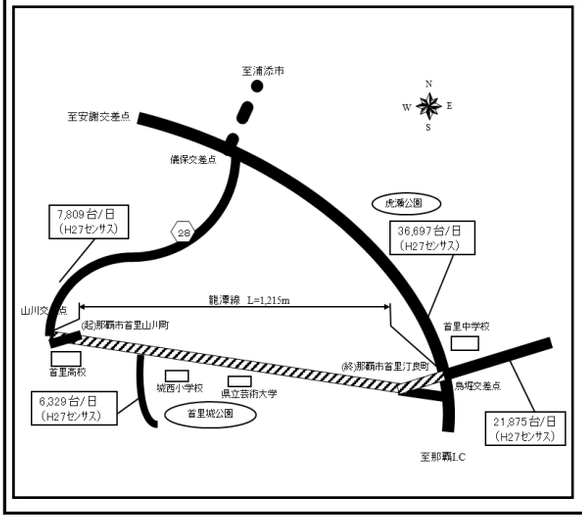
【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前　期（5年）					後　期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
拡幅整備（平成11年～）					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	主要渋滞区間である鳥堀交差点付近の街路整備工事（電線共同溝含む）を実施する。

【当該年度評価】

定量的･定性的評価（自由記述）	鳥堀交差点付近の街路整備工事（電線共同溝含む）を実施した。
進捗状況	■1．想定通り順調　□2．概ね順調　□3．やや遅れ　□4．遅れ（又は未着手） （対予定の考え：1．80%以上／2．60～79%／3．40～59%／4．39%以下）
課題と対応方針	首里城復興に向けて、主要なアクセス路となる龍潭線について、令和7年度予算の重点配分を行い残工事区間である中城御殿前～鳥堀交差点間の早期整備を図る。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】